東京 2020 パラリンピック・代表候補選手選考基準の変更について

2021 年 3 月 21 日

新型コロナウィルスの感染拡大により国際大会の延期・中止によりポイントやランキングによる国内選手の選考の基準を示すことが困難になった為、代表推薦選手選考方法の基準を変更する。
よって、以下の基準を基に選考委員会で協議、選考し（公財）日本パラリンピック委員会に推薦する。

共通基準（変更なし）

下記基準を満たす者を選考対象とする。

1．本連盟強化指定選手である者。
2．2021 年 12 月 31 日時点で 18 歳以上である者。
3．国際的なクラス分けにおいて、'Confirmed'もしくは'Review'と判定されている者。
4．2019 年 1 月 1 日以降の UCI 公認の国際的なパラサイクリング大会（世界選手権、ワー ルドカップなど）に 1 回以上出場している者。
5．日本代表としてふさわしい言動・態度を備えている者。
6．強化の方針・指示に従う事を承諾した者。

共通基準（3）、（4）については、選考時に満たしていない者でも、2021 年 5 月末まで に確実に満たすことが見込まれる選手についても選考対象とする。

選考基準

①トラック種目を基準として選考する場合

2020 年パラサイクリング世界選手権トラック大会のタイムトライアル（TT）、個人パシュート（IP）の 8 位のタイムを上回ること。選手は、TT または IP どちらかのタイムを上回れば基準に達したと見なす。タイムの適用時期は、2021 年 1 月から 5 月末までの強化合宿でのタイムトライアルのタイムとする。

②ロード種目を基準として選考する場合

2018 年、2019 年パラサイクリング世界選手権ロード大会の結果にてロードレースまたはロードタイムトライアルで 8 位以上の成績であること。

③トラック、ロードともパラリンピックの種目においてクラスが統合されるとき、クラスが統合されて係数が適用されるときは、それに準じた選考基準とする。

④基準をクリアした選手が複数名いる場合は、入賞可能性のある種目数、順位等がより高い選手を選考する。

⑤公益財団法人日本障がい者スポーツ協会 日本パラリンピック委員会が示す選手選考基準を満たしているもの。以下が基準となる。

選手選考基準

国民の期待に応え得る競技力をもつとして競技団体から推薦された候補者で、次の１～３に掲げる全ての条件を満たす者を選考 する。但し、開催国枠のある競技は下記の条件を満たす者を選考する。

（１）東京 2020 パラリンピック競技大会の参加資格を満たしている者

（２）医学的観点から、日本代表選手として推薦できる者

（３）メダル獲得または入賞の可能性のある者

タンデムパイロットについて

視覚障がい B クラスの選手が選考された場合、パイロットとなる選手を別途選考する。 ＵＣＩ規則（16.3.003、004、005、006）を満たし、かつ選考された B クラスの選手とペアを組み世界選手権またはワールドカップでメダル獲得または入賞していること。

選考除外

以下の選手は選考から除外する。

１．アンチドーピング規定に従わない者。

２．強化の方針・指示に従わない等、チーム行動に不適格と見なされる者。

３．代表として不適格な言動・態度が認められる者。

代表推薦選手選考時期について

2018 年 12 月 31 日ＵＣＩから発表されたアジア大陸枠で獲得した男子 1 枠、女子 1 枠については枠が確定してるため基準に達している選手男女 1 名ずつに内定を出すことができる。

その他の選手については 2021 年 6 月 14 日の参加枠最終決定後 1 週間以内に発表する。

代表推薦選手が決定した時は、その都度連盟ホームページにて公開する。